



県議会議員講座「こんにちは！県議会です」開催概要

令和3年 11月4日(木) 15時30分~16時20分

延岡商業高等学校 全校生徒 399名

講師：山下 寿 議員

岩切 達哉 議員

開催内容

- | | |
|------------------|------------------|
| ① 学校代表あいさつ | ④ 主権者に求められる力(役割) |
| ② 講師自己紹介 | ⑤ 質疑応答 |
| ③ 県議会の仕組みや役割等の説明 | ⑥ 生徒代表あいさつ |

○ 講座内容

講師である山下寿議員、岩切達哉議員の自己紹介のあと、県議会の役割や仕組み、議会の話し合いの内容を知る方法、意見を県議会に伝える方法について、スライドで説明しました。

次に、主権者として政治に関わっていく際に求められる力(役割)について、講師それぞれから以下のとおり話をしました。

【山下 寿 議員】

・私は町議会議員をしていた。4年やって、思うような議会にならないということで、一度やめた。ところが一般住民として、行政にいろんなお願いをしても、なかなか変わらない。これはもっと議会も行政も改革しないといけない、ということで、もう一度立候補し、それから8年間町議会議員をした。その間にいろいろと提言やお願いをして、町も少しは動いてくれたと思う。

・72歳になって、県議会議員になった。私の住む川南町の年間予算は60億円から70億円くらいだが、県の予算は7,000億円程度だ。それだけの予算を私たち議員が審査している。一円たりとも、議会の審査を通らないと使えない。

・投票で選ばれた議員が、この地域や世代はこういうことをしてほしいんだと、市町村長や知事をお願いする。もちろん、市町村長や県知事も、あなたたちが選ぶ。ぜひ皆さん方の権利である選挙権を行使して、皆さんが思うまちづくり、学校づくりをしていただきたい。

【岩切 達哉 議員】

・皆さんと同じ年齢で、世界を動かしたグレタ・トゥーンベリさんという方がいる。地球環境のことを一生懸命訴えて、それに世界の大人たちが賛同した。それで、国際的な会議でも、脱炭素というテーマで、地球環境を守らなきゃという話が出ている。だから、主権者は議員を選ぶと同時に、自分たちの課題をしっかりと社会に訴えることが大事だと思う。

・延岡商業高校の身近なことで言うと、近くの川の整備が不十分だったときは水が溢れて、町が浸かったりしていた。それを何億円というお金をかけて大きな排水機を作って、学校が安全に過ごせるように環境を変えた。ほかにも、教室にコンピューター機器が入ったと伺ったが、これも、皆さんのために使おうということになったからこそである。ほかのことに使おうという力も世の中にはある。様々な要望要求が整理されて結論が出るので、「もっと僕たちのために使ってよ」と、声を上げるかどうかが大事だ。自分から積極的に主張をしないと、いろんな予算が、思うところとは違うことに使われていくんだと理解していただきたい。



質疑応答では、次のようなやりとりがありました。

【質問】 請願について、手紙以外の形式でもできるのか。

【岩切 達哉議員】

・手紙というよりも、文書で、という理解の方がいいかと思う。手や言葉が不自由など、いろんな立場の人がいると思う。それを補うために議会事務局職員がいるので、お越しいただければ対応できるだろう。

・県内には39名議員がいる。どなたかに自分の思いを伝え、議員から賛同を得て請願書にサインしてもらう、という手続きが必要になるが、気になっていることがあれば一度試してみたい。

【質問】 どういうキャリアを積めば議員になれるのか。

【山下 寿 議員】

・周囲の人や同級生に、地域や職場の代表として県議会議員になりたいんだ、とお願いをして、協力してもらうことが方法の一つだ。特に私なんかは、地域から出た議員だから、地域の人たちが応援をしてくれて初めて議員になれる。

・特に、ということ言えば、国会議員の先生方は、大学で経済や法律を学んだ方が多いように見受けられる。しかし、県議会や市町村議会では、必ずしもそうではない。私は農業をしていて、地域の方から選挙に出るように言われ、応援してもらって、当選した。当選したら地域のために一生懸命働く。それが評価されれば4年後の選挙でまた当選できる。その積み重ねが議会活動だ。



○ 受講された生徒の皆さんへのアンケート結果

・議会の話し合いは傍聴できることを知っていましたが、インターネットでも見られることを教えてもらったので、携帯で見ようと思いました。

・先日、自分一人で期日前投票に行きました。その時はあまり感じませんでしたが、ちゃんと有権者としての役割を果たせたのではないかと今日の講話で思いました。

・議会での動画の質問を聞いたとき、私たちが気にしている内容を話していて、興味がわいたと同時に、自分の権利を無駄にしたらいけないと強く思いました。

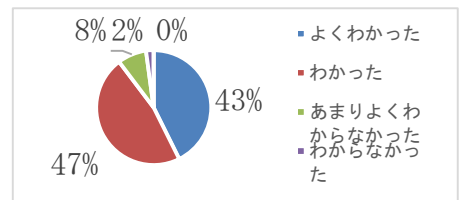
・地域を良くしようと頑張ってください議員の方に私たちができることは、興味を持って行動することだと思うので、選挙には積極的に参加していきたいとします。

・地域の人々の意見や支えがとても大切なんだと知ることができ、自分も、県が少しでも良くなるようにできないかと思うととても大切な時間を過ごすことができました。

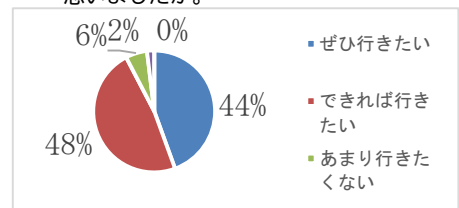
・議員は誰でもなれると言われてとてもビックリしました。議員になる人は全員すごい学校などを卒業していると思ったので、とても意外で少しかだけ親近感がわきました。

・私はまだ17歳で、まだ有権者ではなく、来年初めて投票に行くのですが、その際は、今回の講話の内容を思い出して、しっかり考えて投票したいです。

問1 講座の内容はわかりやすかったですか。



問2 有権者になったら投票に行ってみたくて思いましたか。



問3 県議会やお住まいの市町村の議会の活動に興味はわきましたか。

